

大林宣彦

私蔵資料アーカイブ研究会

2026年

7月4日(土)

13時30分開場 14時開始
17時30分終了予定

※事前予約不要・入場無料

成城大学

8号館4階 008教室
東京都世田谷区成城6-1-20

映画作家・大林宣彦が遺した膨大な制作過程資料(段ボール約500箱)は、現在、故郷である広島県に保管されているが、未整理の状態にある。本研究会では、これらの資料を「保存」「修復」「公開」「活用」するためのデジタルアーカイブ化と、未来への継承における論点を、専門家、実務家、学者の各視点から検討する。

第一部 私蔵資料を未来へつなぐ
デジタルアーカイブ化の可能性と課題

大林千菜萁

佐井大紀

TBSテレビプロデューサー、映画監督

松田真

(社)ゲーム寄贈協会、日本マンガ学会、
弁理士・司書・学芸員

モデレーター…原田悦志

(有)メイプルエイドCEO
東京外国語大学大学院 特別研究員

第二部 大林宣彦を語り継ぐ

作品の魅力と記憶の継承

犬童一心

映画監督

小中和哉

映画監督

高田雅彦

映画研究家

高橋栄樹

映画監督

樋口尚文

映画監督、映画評論家

モデレーター…宮本聖二

立教大学大学院 客員教授

第三部 総括と展望

福井健策

弁護士・デジタルアーカイブ学会副会長

モデレーター…原田悦志

※登壇者名 五十音順

共催：大林宣彦アーカイブ研究会 / 成城大学文芸学部 協力：大林宣彦事務所
お問合せ：(有)メイプルエイド 原田悦志 harada.mapleaid@funky.zaq.jp